

「令和4年度政策コンテスト開催支援業務委託」に係る提案公募 質問及び回答

質問受付期間：令和4年4月18日～5月13日

No	該当資料	項	質疑内容	回答内容
1	仕様書	6-(3)-①	<p>「予算化まで含めた事業化について」</p> <p>事業化のイメージについてご回答ください。 事業の主体はどこなのか、その場合の予算はどこが工面するのが質問の主旨です。これによって、コンテスト全体のデザインが変わってきます。当方で想定される状況を考えてみました。以下の3つであれば、どれがイメージに近いでしょうか。ご回答ください。</p> <p>①予算も含め民間が主体で事業を実施する ②行政からの補助金等で市民が事業を実施し、高松市がその支援をする ③令和5年度の予算化に向けて調整する。実施主体は高松市。</p>	<p>本市の将来を支える若者が利用とするまちづくりについて、若者らしい自由闊達な政策提案を募集することから、提案内容に合わせた多様な事業主体及び委託料や補助金はもとより、営利なども含めた様々な予算提案が想定されます。コンテストをデザインされる際は①～③のいずれかでも、また、①～③を含め、その他の多様な主体や予算などを広く募るのもよいです。</p>
2	仕様書	6-(3)-②	<p>「参加者の属性に応じた部門を複数設定について」</p> <p>属性に応じたとありますが、学生や社会人というような年齢を軸とした部門なのか、それとも提案される分野がある程度限定するような部門設定なのか、どちらを想定されていますでしょうか。 どちらにせよ、事業化への確度を高めるための部門設定との認識であっていますか。</p>	<p>属性に応じた部門設定については、提案分野を限定するものや年齢に応じたものなど、どのような部門設定でもかまいません。 部門設定における認識については、お見込みのとおりです。</p>